

京都市立京都堀川音楽高等学校

令和7年度 学校案内





音楽を愛し、人を愛して

指揮者 佐渡 裕 京都市立京都堀川音楽高等学校 芸術顧問(31期卒)

「堀音」この言葉の響きに、僕は強い誇りと、抑える事のできない思い出で胸が一杯になる。だからこそ僕は卒業してからも、必ず年に一度は学校を訪ね、懐かしい先生に挨拶をし、生徒たちのオーケストラを相手に汗を一杯かきながら指揮し、いつの間にか随分歳の離れたかわいい後輩達に励ましの言葉をかけることを、一人の卒業生として続けている。

それは「堀音」を卒業した者には、受け継がれている想いがあるからだ。それは「音楽を愛し、人を愛しいと思える気持ち。」それをこの学校で先輩や先生から教えられたからこそ、僕は世界を相手にする指揮者になれた。今度は僕がその想いを現役の学生達に伝える番。毎年選ばれる40人の新しい堀音生達よ!いつか皆が卒業し、それぞれの道に進み、例えどんな仕事に就こうと、どんなに離れた所に暮らそうと、この僕ら卒業生が共有できる「堀音」という響きの心地よさに、きっときっと気がつく事だろう。

「人とつながる音楽家」を目指して

「音楽家」として「人とつながる」とはどういうことなのだろう？そんな問いかけから京都堀川音楽高校、通称 堀音（ホリオン）の学びが始まります。その問いの答えを、教職員が生徒たちに「これだ！」と教えることはありません。そもそも正解の定かではない問いであり、誰かが教えられるものではない問いです。音楽に志す生徒自身が堀音の3年間をかけて、その答えを自分なりにつかみ取ってほしい、そんな願いを込めて、教職員は堀音の学びを設計しています。

1年 形にならないものをわたしだけの形にしたい

— 基本的生活習慣・学習習慣を確立する —

1年	現代の国語 2	言語文化 2	歴史総合 2	数学Ⅰ 2	体育 2	保健 1	英語 コミュニケーションⅠ 4	論理・表現 Ⅰ 1	家庭 基礎 2	情報Ⅰ 2	音楽 理論 2	音楽 史 1	ソルフェージュ (視唱・聴音) 4	合唱 合奏 2	実技 2	総合的 探究の 時間 1	H R 1
----	------------	-----------	-----------	----------	---------	---------	-----------------------	-----------------	---------------	----------	---------------	--------------	-------------------------	---------------	---------	-----------------------	-------------

2年 ひとりでできないこともわたしたちが集えばできる

— リーダーとして、フォロワーとして、協働する力を育成する —

2年	古典探究 2	現代文探究 2	公共 2	物理 基礎 2	体育 2	保健 1	英語 コミュニケーションⅡ 4	論理・表現 Ⅰ 1	▲国語 演習 1	▲英語 演習 1	音楽 理論 1	音楽 史 2	ソルフェージュ (視唱・聴音) 4	合唱 合奏 2	実技 2	総合的 探究の 時間 3	H R 1
----	-----------	------------	---------	---------------	---------	---------	-----------------------	-----------------	----------------	----------------	---------------	--------------	-------------------------	---------------	---------	-----------------------	-------------

3年 たたんだ翼をひろげ恐れずに向かっていこう

— 自己理解に基づいて自らの進路を切り拓く —

3年	古典探究 2	現代文探究 2	地理総合 2	科学と 人間生活 2	体育 3	英語 コミュニケーションⅢ 5	▲国語 演習 1	▲英語 演習 1	▲社会 演習 1	音楽 理論 2	ソルフェージュ (視唱・聴音) 4	演奏 研究 1	合唱 合奏 2	実技 3	H R 1
----	-----------	------------	-----------	------------------	---------	-----------------------	----------------	----------------	----------------	---------------	-------------------------	---------------	---------------	---------	-------------

教育課程 令和7年度 入学

- 実技は個人指導。ソルフェージュ・英語は習熟度別授業を行っています。
- 表の数字は単位数(一週間の授業時間数)です。
- 実技は専攻実技1(3年次は2)と、副専攻実技1(ピアノ専攻は声楽、ピアノ専攻以外はピアノ)を履修します。
- ▲は自由選択科目です。

普通科目 音楽科目 特別活動他

校歌の歌詞に因んだこのような各学年の目標を掲げながら、「実技力」「学力」「人間力」の3つの力をバランスよく身に着ける。それらが重ねあわされた「音楽力」ともいふべき力を、仲間と教職員、また堀音の3年間で出会う機会を得られる、多くの優れた音楽家や豊かな教養を持つ方々との学び合いの中で獲得していく。そうして、「人とつながる音楽家」の意味を、ダイナミックに、濃厚に、描く人として巣立ってほしいと考えています。

高校卒業後の進路

	卒業年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
国公立大学	東京藝術大学	9	4	6	7(3)
	京都市立芸術大学	11(1)	9	12	13(2)
	愛知県立芸術大学			1	1
	沖縄県立芸術大学	1			
	大阪教育大学	1			2
	京都教育大学			1	1
私立大学	卒業年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
	国立音楽大学			1(1)	1
	東京音楽大学	5	5	6	6(2)
	桐朋学園大学		1	4	3(1)
	同志社女子大学	12(1)	7(1)	8(1)	10(1)
	大阪音楽大学	10(2)	10(3)	9	14
	その他	7(5)	10(5)	8	14
留 学	1(1)		2(2)	3(3)	
卒業生数	39	32	39	40	

合格者延べ数 ()内の数字は過年度卒業生で内数

大学進学後の活躍

- 演奏家 (ソリスト・オペラ歌手・オーケストラメンバーなど)
北西ドイツ・フィルハーモニー管弦楽団、ベルギー王立歌劇場 (モネ劇場) 管弦楽団、スイス・ロマンダ管弦楽団、レザール・フロリサン、バルティックフィルハーモニー管弦楽団、NHK 交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、京都市交響楽団、神戸市室内管弦楽団/二期会、神戸市混声合唱団、びわ湖ホール声楽アンサンブル、新国立劇場オペラ研修生、劇団四季/自衛隊 音楽隊 ほか
- 作曲家
安田結衣子 ほか
- 指揮者
高谷光信 (ウクライナ・チェルニーヒウフィルハーモニー交響楽団 常任指揮者)、杉本優 (プレーメン歌劇場 第2カペルマイスター) ほか
- 音楽研究者 (音楽学者・芸術学者・批評家など)
- 専門的な指導者 (大学教員・レッスン指導者・合唱指導者など)
- 教員 (小学校・中学校 (音楽)・高校 (音楽) など)
- 音楽療法士
- マスメディア関係 (出版・放送など)
- 企画運営・制作 (音楽事務所・芸術計画業務・企業の芸術支援業務など)
京都コンサートホールプロデューサー、株式会社ベビシユタイン・ジャパン ほか
- 楽器メンテナンス (管楽器リペア・ピアノ調律師など)

ほかにも活躍する先輩がいっぱい!

音楽を愛する一人ひとりの夢の実現に向けて

充実した講師陣による徹底した個人指導

生徒一人ひとりの個性と音楽的才能を最大限に伸ばすため、声乐、ピアノ、弦楽、管楽、打楽、作曲、楽理の各専攻において、音楽の最前線で活躍されている、京都堀川音楽高校ならではの充実した講師陣による個人指導を行い、将来、音楽の第一線で活躍するために必要な音楽の基礎的実技力や表現力をしっかりと育成します。

専攻について

声乐専攻



歌曲やオペラアリアの学習を通して身体に無理のない発声を学び、くせのない、のびやかな声を育てます。また、合唱やアンサンブルも学び、協働して音楽を作る力も育てます。

作曲専攻



楽曲分析や和声法・対位法など、作曲に必要な基礎力を育てます。また作品の演奏発表も行い、奏者と協働して音楽を作る力も育てます。

楽理専攻



表現コース

作曲、声乐、指揮、ピアノ、チェンバロ、クラシックギター又は弦楽器、管楽器（ユーフォニアムを含む）、打楽器等を用いて各表現方法の表現に必要な基礎的な力を育てながら、音楽表現の考察と実践力も育てます。



理論コース

音楽理論や音楽史を中心に学び、音楽を多角的に考察する力を育てます。また研究成果の発表を通して、プレゼンテーション力も育てます。

それぞれの専攻・楽器を学びながら、一人ひとりの個性を生かした音楽力を身につけることができます。



レッスン風景（声乐）



レッスン風景（ピアノ）



レッスン風景（ヴァイオリン）



レッスン風景（クラリネット）

器楽専攻



ピアノ

バロックから現代に渡って幅広く学習し、ピアノ演奏に必要な力を育てます。また、ピアノ重奏や他専攻・楽器とのアンサンブルも学び、協働して音楽を作る力も育てます。



弦楽

ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバスの各専攻があり、各楽器の演奏に必要な力を育てるとともに、オーケストラやアンサンブルも学び、協働して音楽を作る力も育てます。



管楽

フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット・サクソフォン・ホルン・トランペット・トロンボーン・チューバの各専攻があり、各楽器の演奏に必要な力を育てるとともに、オーケストラやアンサンブルも学び、協働して音楽を作る力も育てます。



打楽

打楽器・マリンバの各専攻があり、各楽器の演奏に必要な力を育てるとともに、オーケストラやアンサンブルも学び、協働して音楽を作る力も育てます。

コンクール実績

第73回全日本学生音楽コンクール

- ♪ フルート部門高校の部 全国大会第1位
- ♪ 声楽部門高校の部 全国大会第2位
- ♪ ピアノ部門高校の部 全国大会横浜市民賞

第73回滝廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール

- ♪ 第3位・優秀賞

第74回全日本学生音楽コンクール

- ♪ ピアノ部門高校の部 大阪大会第1位・全国大会入選

第21回大阪国際音楽コンクール

- ♪ ピアノ部門Age-H 第1位

第75回全日本学生音楽コンクール

- ♪ バイオリン部門高校の部 大阪大会第1位・全国大会入選

第20回宝塚ベガ学生ピアノコンクール

- ♪ 高校生部門第1位・宝塚演奏家連盟特別賞

第76回全日本学生音楽コンクール

- ♪ ピアノ部門高校の部 大阪大会第2位・全国大会入選
- ♪ ピアノ部門高校の部 大阪大会第3位・全国大会入選
- ♪ バイオリン部門高校の部 大阪大会第3位・全国大会入選
- ♪ チェロ部門高校の部 大阪大会第2位・全国大会入選

第77回全日本学生音楽コンクール

- ♪ バイオリン部門高校の部 大阪大会第2位・全国大会入選

第22回宝塚ベガ学生ピアノコンクール

- ♪ 高校生部門第2位



詳細はホームページをご確認ください。

音楽科教員

音楽

(ピアノ・合奏・重奏・演奏研究)
(ホルン・合奏・ソルフェージュ)
(ソルフェージュ)
(声楽・合唱)
(作曲・音理・ソルフェージュ)
(ピアノ・ソルフェージュ)
(フルート・重奏・ソルフェージュ)
(ソルフェージュ)
スコアリーダーディング・ソルフェージュ
ソルフェージュ

声楽・合唱・ソルフェージュ

重奏
作曲・ソルフェージュ・演奏研究
西洋音楽史
日本音楽史
音理・ソルフェージュ
ソルフェージュ
音理・ソルフェージュ
合唱・ソルフェージュ
重奏・合奏
声楽・重唱・ソルフェージュ

明石 幸大
海塚 威生
佐々木 望
津幡 泰子※
平田あゆみ
山本祐梨子
清田 博美
小島 夏香
川崎さやか
北村 愛子
木下阿由見
小玉 洋子
小林小百合
小松 淳史
竹内 直
武内恵美子
十河 陽一
中本芽久美
長谷川智子
馬場 眞子
藤森 彩
山原さくら

ソルフェージュ

声楽

ピアノ

ピアノ・指揮伴奏

山本紗佑里
横田 秀孝
吉田 七星
片桐 直樹
篠原 美幸
高島 依子
田中千佳子
乃村八千代
石田 純子
岡田真里亜
上敷領美絵
小林 玲子
崔 理英
崎谷 明弘
塩見 亮
鈴木華重子
多川 響子
田中 智穂
中川 美穂
西村 静香
法貴 彩子
山下 諒
坂口 航大

ヴァイオリン

ヴィオラ チェロ コントラバス フルート

オーボエ クラリネット サクソフォン

ホルン
トランペット
トロンボーン
ユーフォニアム
チューバ
打楽器
マリンバ
クラシックギター
指揮

池川 章子
植村 菜穂
島田真千子
杉江 洋子
横井 和美
佐藤 響
西口 勝
大久保祐奈
初田 章子
上品 綾香
村上てるみ
佐山 侑子
田端 直美
牧 祐介
森 陽子
稲垣 路子
湯浅 篤史
貝塚 理江
三角 顕史
宅間 斉
伊藤朱美子
益田 展行
松本宗利音
※は主幹教諭

世界的音楽家・著名な音楽指導者による特別レッスン

深く、そしてより高度な音楽水準を目指して、毎年、国内外から優れた演奏家・著名な音楽指導者を特別講師として招聘した公開レッスンなどを行っています。国内外で活躍される先生方による指導を通して生徒たちはさらに音楽への憧れを強くし、その向上心へと結び付けています。

公開レッスン・専攻別特設講座

毎年国内外の優れた音楽指導者を招いて、公開授業を行っています。(敬称略・肩書は当該年度のもの)

特設講座



声楽
京都市立芸術大学准教授
日紫喜 恵美 先生

令和4年度

- 中島 郁子 (声楽 東京藝術大学准教授)
- 迫 昭嘉 (ピアノ 東京藝術大学教授)
- 阿部 裕之 (ピアノ 京都市立芸術大学教授)
- 玉井 菜採 (ヴァイオリン 東京藝術大学教授)
- 四方 恭子 (ヴァイオリン 京都市立芸術大学教授)
- 須川 展也 (サクソフォン 東京藝術大学招聘教授)



チェロ
東京藝術大学准教授
中木 健二 先生

令和5年度

- 菅 英三子 (声楽 東京藝術大学教授)
- 栃本 浩規 (トランペット 東京藝術大学教授)
- 坂井 千春 (ピアノ 東京藝術大学教授)
- 玉井 菜採 (ヴァイオリン 東京藝術大学教授)
- 日紫喜恵美 (声楽 京都市立芸術大学准教授)
- 古賀 慎治 (トロンボーン 東京藝術大学教授)
- 中木 健二 (チェロ 東京藝術大学准教授)
- 三船 優子 (ピアノ 京都市立芸術大学教授)

公開講座



ピアノ
芸術顧問
松田 康子 先生

普段教わることのない先生から新しいアイデアを得られる貴重な機会です。私は、聴講者がいることで、学ぶ姿勢について改めて考えられました。これからは、“どう弾きたいか”を明確に言葉にできるようになりたいと思います。

3年 器楽専攻 (チェロ)
堀内 美雛 (奈良市立登美ヶ丘北中学校出身)

様々な音楽の学びの場

各専攻ごとの個人指導に加えて、重唱や重奏、合唱やオーケストラの学習を通して、仲間と共に音楽を幅広く学び、その成果を毎年京都コンサートホールで開催する定期演奏会で披露しながら、一人では得られない達成感を仲間と一緒に分かち合っています。また、ヨーロッパ研修旅行（オーストリア・ウィーン、チェコ・ブルノ等）で、本場のクラシック音楽にも触れ、将来の夢を大きく育みます。

合奏・合唱・アンサンブル



授業風景（合奏）



授業風景（合唱）



合奏の授業では、まず弦楽と管打楽で分かれて細かなニュアンスや奏法を揃え、その後全体で音楽を仕上げていきます。合奏では、数多くのパートや楽器同士の掛け合いを理解し、聴きとる必要があります。最初は難しかったのですが、先輩の姿から学び、楽譜や音に真剣に向き合っている間に自然とできるようになってきました。

3年 器楽専攻（ヴァイオリン）
宅野 りのか（宇治市立木幡中学校出身）

合唱の授業ではオーケストラ定期演奏会などの本番に向けて練習を積み重ねています。授業は三学年合同で行われるため先輩から多くのことを学ぶことができます。私自身、大きなホールで全校生徒で一体となって練習の成果を発揮できた時には大きな達成感を得ることができました。

3年 器楽専攻（ピアノ）
今枝 沙穂菜（京都市立京都御池中学校出身）



授業風景（重奏）



管楽アンサンブルコンサート

音楽科目 ソルフェージュ



授業風景（聴音）



授業風景（視唱）

聴音では、旋律や和音を聴いて楽譜に正確に書き取る学習を、視唱では楽譜の内容を正しく歌う技術を身につけ、音楽性豊かな表現を追求します。少人数のグレード別クラスで行っているので、自分に合った学びができます。

音楽理論



授業風景（音楽理論）

音楽を専門的に学習する上で必要な知識を習得します。学年に応じて、楽典、和声法、楽曲分析などを学習します。

演奏研究



授業風景（演奏研究）

音楽の様式を踏まえた演奏を目指して、様々な音楽専門科目で得た知識や技術を総合的に用いて多角的に学習します。「先生方の専門性やこだわりが発揮される授業で、おもしろい」と、生徒からも好評です。

芸術探究・総合的な探究の時間



芸術探究（箏曲）



芸術探究（長唄）



絵本コンサート（総合探究）

芸術探究の一環として、年に2回邦楽を学ぶ時間があります。また、「総合的な探究の時間」では音楽と社会とのつながりについて考え、京都市立図書館8館での「0歳からの絵本コンサート」の企画に取り組んでいます。



「総合的な探究の時間」では、学校外の方々との関わりを通して、多くを学び、自身を成長させることができます。1年生の取組である京都市図書館での絵本コンサートや地元城巽学区での「ひな祭りコンサート」では、演奏で出演するだけではなく、企画や構成、編曲なども自分達で行うため、演奏会に至るまでの道のりも学ぶことができます。私はこの授業を通じて、様々な方の協力があってこそ、素晴らしい音楽を届けられるということを意識するようになり、視野が広がりました。

2年 声楽専攻
稲葉 千洋（京都市立下鴨中学校出身）

長唄講座は普段オーケストラが演奏されているホールで行われました。長唄が演奏されるといつもとは全く違った空気が生み出され、普段は教会のような響きのホールがまるで竹林であるかのように感じました。講座では、実際に楽器に触れたのですが、三味線は、同じ撥弦楽器であるギターを専攻している私でも苦戦しました。けれども、それらの体験を通じ、改めて自分たちが取り組んでいる楽器の個性について考える機会となりました。

2年 楽理専攻表現コース（クラシックギター）
宇山 心奈（京都市立凌風小中学校）



普通科目



授業風景

普通科目の勉強は音楽と無関係ではありません。日々の勉強が音楽に生きることが多くあります。例えば堀音の歴史の授業では、世界の出来事に関連した音楽も交えて歴史を説明してくださるので、音楽をこれまでは違う角度から理解することができました。また、英語の授業を理解しテストに備えて勉強することは、海外の先生のレッスンを理解することに繋がると感じます。研修旅行でのレッスンにも活かせるようにさらに英語力を上げていきたいと思います。

2年 器楽専攻（ピアノ）
杉江 色葉（京都市立加茂川中学校出身）



卒業生よりメッセージ



©平舘平

岸上 穰 Jo Kishigami
(55期卒)

京都府向日市出身。東京藝術大学を安宅賞ならびにアカンサス音楽賞を受賞し卒業。フランクフルト音楽舞台芸術大学を首席で卒業。

第23回日本管打楽器コンクールホルン部門第1位。第80回日本音楽コンクール第2位。

ソリストとしてLes Siècles、東京交響楽団など国内外のオーケストラと共演。

ヴィースパーデン・ヘッセン州立歌劇場契約団員を経て、2009年より東京都交響楽団ホルン奏者。東邦音楽大学講師。WaldKonzert代表。

音楽と向き合う愉しさ、他人と評価をされる現実の厳しさ、そんな状況で自分と向き合い1小節のたった1つの音だけに時間を費やすことの大切さ、これらの基礎を僕は堀音時代に学び、現在もなお、自分の根底にあり、音楽活動をする上での大事な支えとなっております。

中学時代に吹奏楽部で始めたホルンという楽器を通じて、まだまだ曖昧だった自分の将来を理想に変えてくれたのもこの高校時代。

個人レッスンを受けるだけでは絶対に経験することのない、高い志をもった同級生たちと素晴らしい指導者の方で共に向上していく、この環境が高校生で経験できたことは自分の音楽人生にとって大きな財産となりました。卒業してからも日本だけでなく世界中でも繋がりのある母校です。

私が堀音に入って一番良かったと感じることは、周りの仲間たちと切磋琢磨しながら音楽を学ぶことができる環境で過ごせたことです。同じような目標を持つ仲間が周りにいることで、より頑張ろうと思える力になったり、行き詰まった場合でも理解のある人たちと日々学校生活を送ることができました。

金本 倫（74期卒／京都市立芸術大学【ピアノ】）



堀音では、専攻はもとより、例えば、ソルフェージュやピアノ、音楽史など、広く音楽に親しむための基礎的な能力を高めることができます。これらは大学以降も必要な能力であり、当然大学でもこれらの講義はありますが、高い水準で高校段階から学んでおくことは、大学からの勉強をさらに発展的な段階から始めることができるといって非常に有利だと思います。

阪本 京（73期卒／東京藝術大学【声楽】）



僕は今ベルリンに留学しているのですが、ヨーロッパへの研修旅行や海外で活躍する卒業生の方々を見たことがそのきっかけでした。この学校では音楽に関することであれば、自分から求めさえすれば何でも実現できるといえるでしょう。ひたすら音楽に集中できる環境、互いに刺激を与え合える友人たち、今思い返してもとても良い環境でした。

井垣 旺士
(71期卒／ハンズ・アイスラー音楽大学【コントラバス】/ドイツ)



HORION LIFE

音楽高校ならではの定期演奏会や2年生全員が行う音楽の本場ヨーロッパでの研修などをはじめ、生徒一人ひとりが自分の音楽を究めていくための“本物”に接する機会を大切にしています。

4月

- 入学式
前期始業式
- 新歓コンサート・
対面式
- 遠足

5月

- 中学生対象
スクールガイダンス
- 前期中間考査
- 生徒自治会総会

6月

- 春期定期演奏会
～3年公開実技試験～
- 2年前期実技試験

7月

- オーケストラ
定期演奏会
- 夏期補習

8月

- 文化祭(音高祭)

9月

- 1年前期実技試験
- 前期期末考査



春期定期演奏会～3年公開実技試験～



ピアノコンサート



京都城巽音楽フェスティバル

私はピアノコンサートに出演させていただきました。ピアノコンサートは、ピアノ専攻にとって1つの目標であり、“コンサート”を学ぶ機会でもあります。私はピアノコンサートから、改めて音楽と向き合うきっかけをもらいました。自分が楽しむだけでなく、お客さまにその曲の秘められた思いが伝わるような演奏をするには自分は何をすればいいかを日々考えながら奮闘しています。

3年 器楽専攻(ピアノ)
山田 初音(奈良市立平城東中学校出身)



音リピック(体育祭)



音リピック(体育祭)

生徒自治会では、生徒自身が学校運営の主体となり、よりよい学校環境の創造のため、日々活動しています。1年間に様々な行事がありますが、中でも文化祭や体育祭はみんなの記憶に残る一大イベントです。それらの企画や運営は思い通りにいかないことも多々ありましたが、みんなをまとめて一つのものを作りあげた有意義な体験は、忘れられない感動となりました。

76期生徒自治会



文化祭



文化祭



音楽ホール



レッスン室

朝練習	午前7時45分から
SHR	午前8時35分
始業	午前8時50分
下校	午後5時
放課後の練習室・自習室の利用	午後6時45分まで

10月

11月

12月

1月

2月

3月

- 前期終業式
- 後期始業式
- 体育祭(音リピック)
- 京都市異音楽フェスティバル

- 2年ヨーロッパ研修旅行

- 後期中間(卒業)考査
- 冬期補習

- 3年卒業実技試験

- 1、2年進級実技試験

- 卒業式
- 学年末考査
- 後期終業式
- 卒業演奏会



オーケストラ定期演奏会

オーケストラ定期演奏会は全校生徒でオーケストラや合唱に取り組む1年で最も大きなコンサートです。みんなで一つの音楽をつくりあげていくことで聴き合う力を身につけることができます。その音楽がホール中に響いた時、私は今までにない大きな達成感を感じました。

3年 器楽専攻(ヴァイオリン) 尾崎 晴野 (京都市立下京中学校出身)



卒業演奏会は3年生の最後の舞台です。これまで何度も一緒に音楽を作り上げてきた先輩と音楽を奏でることのできる最後の機会であり、また涙する3年生も多い思い出の溢れる行事です。私達在校生は、堀音での高校生活を噛みしめながら演奏される先輩方から刺激をもらい、更に音楽への情熱を高めています。

3年 器楽専攻(オーボエ) 北折 衣晴 (大津市立瀬田中学校出身)



卒業演奏会



ウィーン カールス教会コンサート



チェコ・ヤナーチェク音楽院 個人レッスン

77期
11月にいよいよ
行きます!

大きく2つ印象に残っていることがあります。まず、教会でのコンサートでは、それまでに体験したことのないような響きの中でたくさんのお客様の前で演奏しました。神聖な場所で72期全員で合唱したことは、本当に大切な思い出です。また風景としては、ヴルタヴァ川に架かるカレル橋とベートーヴェンの散歩道でもあったウィーンの森が印象に残っています。研修旅行を経て、実際に現地で作曲家の背景を知ることが出来たため、音楽表現の幅が広がりました。

田中 ほか
(72期卒/大阪教育大学[トロンボーン])



入試情報

令和7年度の前期選抜検査内容は、京都市・府教育委員会が8月に発表する「入学者選抜要項」及び本校の「募集要項」をご覧ください。課題曲等の発表は、9/27(金)正午。詳しくは9/28(土)の学校説明会&コンサートで説明いたします。

参考 令和6年度前期選抜概要

<選抜方式> C方式

1. 独自学力検査：国語、英語

2. 実技検査：専攻実技テスト、音楽通論、聴音、視唱

必修テスト	ピアノ新曲視奏テスト (楽専のピアノ及び楽理専表現コースのピアノを志願した者に課する)
	チェンバロ基礎テスト (楽理専表現コースのチェンバロを志願した者に課する)
	必修ピアノテスト (上記以外を志願した者に課する)

3. 報告書

4. 面接

- 実技検査には、「専攻実技テスト」の他、音楽基礎科目として「音楽通論」「聴音」「視唱」「必修テスト」があります。
- 必修テストは、それぞれの専攻・楽器によって「ピアノ新曲視奏テスト」「チェンバロ基礎テスト」「必修ピアノテスト」のいずれかを行います。
- 居住する都道府県の公立高校に音楽科がない場合、あるいは音楽科はあるが志望する専攻等がない場合は、京都府外から志願することができます。
- 楽理専攻は、東京都を除くすべての道府県から志願することができます。
- 各検査の内容等は本校が実施する学校説明会&コンサートで説明します。
- 選抜に関する詳細は本校企画推進部までお問合せください。

専攻別内訳

	令和6年度 入学生	令和5年度 入学生	令和4年度 入学生
声楽	7	6	2
ピアノ	13	20	17
弦楽	5	2	11
管打楽	12	10	8
クラシックギター		1	1
作曲	1		
指揮		1	



出身居住地別内訳

		令和6年度 入学生	令和5年度 入学生	令和4年度 入学生
京都府内	京都市内	13	17	7
	京都市外	4	7	9
京都府外	近畿	17	13	21
	近畿以外	4	3	3

※近畿：大阪府・兵庫県・滋賀県・奈良県・和歌山県を指す

※近畿以外：福井県・富山県・鹿児島県・徳島県などを指す

入学に向けて

5月11日(土)	中学生対象スクールガイダンス
6月8日(土)	春期定期演奏会～3年公開実技試験～
6月15日(土)	//
7月21日(日)	第51回オーケストラ定期演奏会 (京都コンサートホール大ホール)
8月3日(土)	中学生対象レッスン
8月23日(金)	//
※8月下旬	「令和7年度入学者選抜要項」 京都市・府教育委員会より発表
9月27日(金)	令和7年度前期選抜 実技検査課題曲等発表 中学校先生対象説明会
9月28日(土)	学校説明会&コンサート ～前期選抜実技課題曲説明～
10月19日(土)	小学生対象スクールガイダンス
令和7年1月下旬	願書受付
2月初旬(土・日)	前期選抜(実技検査・学力検査・面接等)
2月下旬	合格発表
3月22日(土)	第15回卒業演奏会 (京都コンサートホール大ホール)

※上記の予定は今後変更されることがあります。

詳細は本校のHPをご覧ください。

※楽器店での学校説明会・コンサートも開催しています。

※随時、個別の相談を行っています。

年間必要経費 (令和6年度)

入学料	5,650円
授業料(年額)	118,800円
学校預り金 ※情報端末購入代を含む	83,986円
音友会(PTA)	29,000円
同窓会費	5,000円
制服代	約77,000円
教科書・体育用品	約50,000円

海外研修旅行積立金 450,000円
(1～2年生で15回の積立)

※所得額によっては高等学校等就学支援金制度申請により授業料は無償となります。

※所得額によっては海外研修旅行積立金や情報端末購入費に補助等のある場合があります。

芸術顧問からのメッセージ

堀音では、国内外で高い評価を受けている優れた音楽家であり、また、音楽指導者・教育者として高い見識と実績を合わせ持つ方々に「芸術顧問」を委嘱し、指導・助言をいただいています。

(敬称略・五十音順)



ヴァイオリニスト / 岸邊 百百雄

桐朋学園を経て、ウィーン国立アカデミーに留学。ウィーン室内合奏団創立メンバー。東京フィルハーモニー交響楽団、ロツテルダムフィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団等のコンサートマスターを歴任。昭和56年京都市立芸術大学教授就任、平成12年同大学音楽学部長・大学院音楽研究科長。平成15年退官。現在同大学名誉教授、相愛大学教授。平成15年「京都市文化功労者賞」受賞。

今日は、大変不安な時代だと言われています。しかし、有史以来、人類は多くの愚行、蛮行を重ねて来ましたし、多分、これからもそれは続いていくでしょう。一方、人類は素晴らしい文明、文化を築き上げてきました。その一つである音楽に対する私の想いは年齢を重ねるに従って深まっています。この喜びを一人でも多くの人と共有したいと願っています。



トランペット奏者 / 北村 源三

東京藝術大学在学中に第27回日本音楽コンクール管楽器部門第1位。昭和35年NHK交響楽団入団。以後25年間にわたり首席奏者を務めるほか、一流オーケストラと数多く共演。平成3年第11回有馬賞受賞。現在N響団友、国立音楽大学理事、日本トランペット協会会長。堀川高校音楽課程第7期卒。

私は中学の時、吹奏楽部で音楽(トランペット)を始めました。そして市立堀川高校音楽課程(現京都堀川音楽高校)で本格的な音楽教育を受けました。現在87歳です。まだ音楽を楽しんでいます。音楽は人の心の中に存在します。その音楽を表現し、人の心に感動を与えることが私の生きがいです。音楽をとおして世界中に友達が出来た事もうれしいことです。



指揮者 / 佐渡 裕

京都市立芸術大学卒業後、故レナード・バーンスタイン、小澤征爾に師事。毎年ヨーロッパの一流オーケストラへ多数客演を重ね、今最も注目されている日本人指揮者。平成23年5月にはベルリン・フィルの定期演奏会にデビュー。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、シエナ・ウィンド・オーケストラ首席指揮者や「題名のない音楽会」(テレビ朝日系列)の司会を務めるなど幅広く活躍している。平成16年「京都市少年合唱団を育む会」顧問に就任。堀川高校音楽科第31期卒。

僕は小学生の時に音楽家になりたいと思っていました。「音楽が大好きだ」という想いがはつきりしていたからです。一人で作る音が二人になったら喜びも倍になります。みんなで作る合唱やオーケストラならその喜びは計り知れません。音高ではそんな想像もつかない喜びが、きっと皆さんを待っていることと思います。



作曲家・打楽器奏者 / ツトム・ヤマシタ

17歳でジュリアード音楽院に給費留学。クラシック、ジャズなどを学んだ後、ベルリンフィル、シカゴ響等と共演。また、故武満徹氏らと数多くの打楽器による楽曲を生みあげる。帰国後、仏教の「供音(音による供養)」という新しい音楽形態を確立。また、ピアノの音域を超える石の楽器「サヌカイト」による演奏活動や、「21世紀京都幕開け記念事業」芸術監督など、芸術監督としても国際的に活躍。堀川高校音楽科第16期卒。

妙なる音は、人類が共有できる平和の調べであり、国境を越えて人々のこころを癒してくれる。



ピアニスト・教育者 / 田中 美鈴

京都音楽短大ピアノ8期卒業。演奏活動としては、伊吹新一とアカデミア管弦楽団および堀音オーケストラや京都市交響楽団でベートーヴェンやモーツァルトの協奏曲を、宇宿允人や門良一のモーツァルト管弦楽団等との共演、その他ジョイントリサイタルの開催や合唱やアンサンブルとの演奏会を行った。教育面では文部省海外派遣でドイツ・ユーゴへの短期研修。高校指導要領カリキュラム作成協力員として一年間、文部省での担当。平成9年には音楽高校として独立開校に際し教頭・校長を経て退職。その後、京都市教育委員会学校指導課専門主事として校舎移転・新校舎建設に携わった。堀川高校音楽課程第10期卒。

昭和23年(1948年)10月に堀川高校音楽課程が設立され、戦後の混沌とした貧しい時代に、音楽家への志を持ち、その道を追求していきたいと願う「第一・第二期生」がいたこと、これが堀音の原点ではないかと思っております。今日までの70年余年に、海外でまた国内で、多くの音楽家が堀音から生まれ、育ち、活躍しております。この先輩たちが持っていた「音楽への想い(愛情)」をこれからの堀音生が受け止め、成長していってくれることを、私は願っております。



アーティスト / 葉加瀬 太郎

平成2年、KRYZLER&COMPANYのヴァイオリニストとしてデビュー。その後、セリヌ・ディオンとの共演をはじめ、国境を越え、様々な音楽ジャンルを吸収した独自のサウンドで人気を博す。平成14年、新レーベル「HATS」を設立。自ら音楽総監督を務め、様々なアーティストプロデュースや良質の音楽を紹介している。堀川高校音楽科第37期卒。

人はひとりでは何もできません。とにかく仲間を、友達をたくさん作ってください。とくにとても若い頃の友人とはいつになってもお互いの秘密の宝箱を共有することが出来ます。そしてそれは何にも代えられない聖域となります。音楽と共に生きる人生は最高に楽しいものです。音楽は衣食住が整って初めて必要とするものではありません。ひとはどんなに飢え、苦しいときにも歌を唄います。I believe in Power of Music.



ピアニスト / 松田 康子

東京藝術大学、同大学院、ミュンヘン国立音楽大学を卒業。ドイツを中心にヨーロッパ各地で、定期的にリサイタル、室内楽、オーケストラ共演などの演奏活動を行うとともに、リヒャルト・シュトラウスの音楽院、京都市立芸術大学、ミュンヘン国立音楽大学にてピアノの指導を行った他、国際室内楽、ピアノコンクールの審査員を務めている。堀川高校音楽科第17期卒。

今の私にとって音楽とは?それは生活して、生きていく事と繋がっていて、その大半は一致しています。今の世界、毎日がニュースで知る貧困、災害、戦争テロ等の中で自分の生命が今日どうなるかという極限状態におかされていない私、幸いなる者の言えることです。有難い感謝しています。音楽をする心、感じる心というのは本当に素晴らしいし、生命へのエネルギーです。でも、それも青年時代に無我夢中で勉強したお陰でしょう。五月の新緑、ここミュンヘンでも鮮やかな色々で我々に語りかけています。そこから音楽が聴こえてきます。……

Dream for the Future
限りない夢と響きを求めて

オーケストラ定期演奏会

YouTubeで
Check! ➡



